

(報告事項)

平成 24 年度事業報告

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

平成 24 年度は期初に定めた活動の基本方針に則り、「よき経営者をめざすものの団体」として静岡県法人会連合会ならびに他団体との連携協調を図り積極的に組織の充実拡充に努力してまいりました。

また最重要課題である公益法人制度改革の流れの中で、第 31 回通常総会に於いて定款の変更および一般社団法人への移行が決議され、一般社団法人へ向けての諸手続きを行い、平成 25 年 4 月 1 日より一般社団法人岳南法人会としてスタートすることになりました。

1. 組織の拡充強化

- (1) 本年も会員増強については、9 月から 12 月までの会員増強運動期間中に本会、支部、青年部会、女性部会が一体となって取り組み、支部役員一人一社の新会員獲得を目標に掲げ 157 社の獲得目標を設定致しました。結果は 25 年 3 月末までに 123 社（前年度 132 社）と前年と変わらぬ獲得状況を見ることが出来ました。また厳しい経済環境により解散、休業、退会等による脱会は 155 社（前年度 115 社）有り、3 月末会員数は 4,056 社（前年度 4,088 社）と前年を上回ることが出来ませんでした。長引く不況の中にあつて各支部役員、関係金融機関、保険会社の努力と協力に感謝致します。
- (2) 青年部会、女性部会は役員及び委員会を基軸に本会との連携を密にして、活発な事業活動が展開されました。女性部会では設立 30 周年を迎え、盛大に記念式典を開催することが出来ました。今年度は特に新規事業も加わりましたが会員相互の啓発、意識の向上が計られました。

2. 地域社会への貢献活動

(社) 岳南法人会の社会貢献事業の一環として今年も「夏休み親子税金教室と感動映画の集い」を開催致しました。8 月 5 日（日）富士ロゼシアター（大ホール）翌 8 月 6 日（月）富士宮市民文化会館（大ホール）に 2,000 人の子供たちと保護者の皆さんが集い盛大に開催されました。

また、恒例の「岳南法人会チャリティーコンサート」は「清水アキラ&良太郎」親子を迎え、「愛する人へ父と子のコンサート」と題して 1 月 26 日（土）に富士ロゼシアター（大ホール）にて大爆笑の中、盛大に開催されました。

コンサート終了後には、清水親子にも募金活動に協力して頂き沢山の募金を集

めることが出来ました。

収益金の一部と会場に設けたチャリティー募金箱の合計 530 千円を富士市、富士宮市の社会福祉協議会、そして今年は青年部会が東日本大震災の被災地を訪問した事で気仙沼法人会にも寄付して善意を評価されました。

3.研修活動の充実強化

「各種講演会」「研修会」「改正税制説明会」「速修経理実務講習会」「年末調整説明会」等実情に応じた研修活動を進め、参加人員の増加等充実強化を図りました。

地区協議会においても視察研修会等が積極的に開催されました。

4.税制に関する改正の要望

税制委員会を中心に「平成 25 年度の税制改正要望事項」を取り纏め、日本経済の活性化を目指し、社会保障と税の一体改革の推進・法人税の引き下げ・行財政改革の推進等を課題として全法連を通じ関係方面に強く要望すると共に、国会議員、地方自治体首長、議会議長にも陳情を行いました。結果、「成長と富の創出」の実現に向けた税制上の措置が講じられると共に「社会保障と税の一体改革」を着実に実施する為の法案が実現する運びとなりました。

5.広報活動の充実

会員以外も視野に入れた効果的な「税の啓発」に役立つ広報活動を展開し、会報誌「がくなん」も第 150 号を迎える事が出来ました。

また、インターネットセミナー・オンデマンドをアピールし H・P からの会員・一般に向け新たな広報活動の場としました。

6.福利厚生制度の推進

協力保険会社との連携強化を通じて福利厚生制度の中核である「経営者大型保障」制度を積極的に推進しその成果が見られました。

7.平成 24 年度の事業の実績は次の通りです。